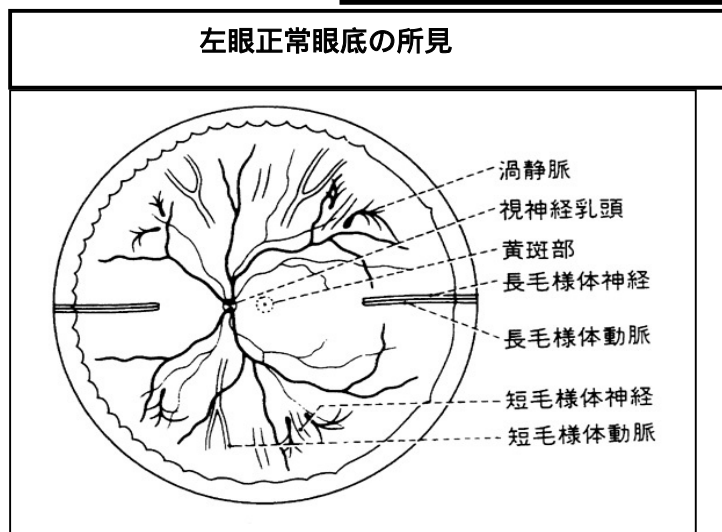
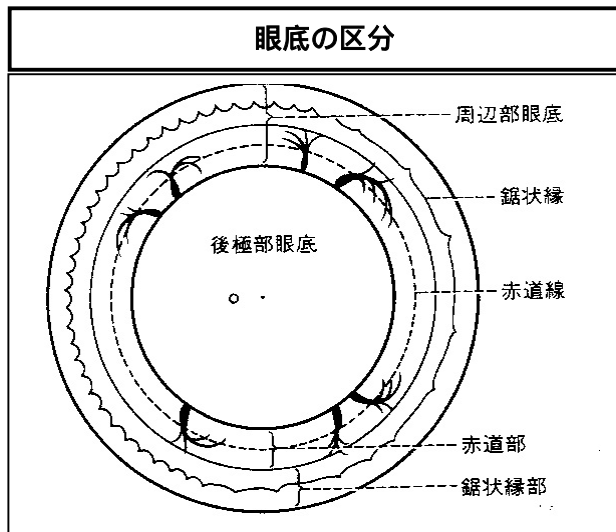


眼底を観察する方法一覧



眼科検査法ハンドブック3版 P307 図10, P308 図11より

前眼部の病変把握

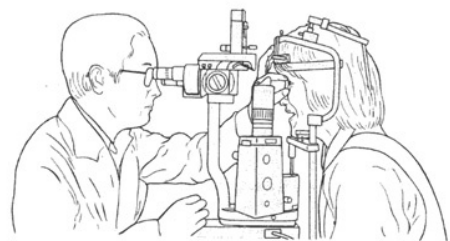
眼底全体の病変部位の把握

眼底の微細な病変部位の観察

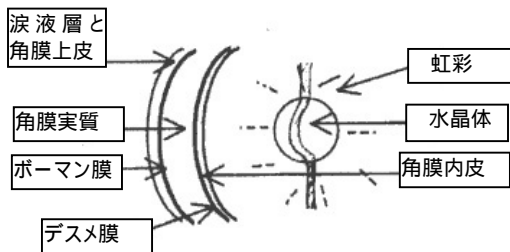
適する病変部位

細隙灯顕微鏡検査

細隙灯顕微鏡検査による前眼部・中間透光体検査

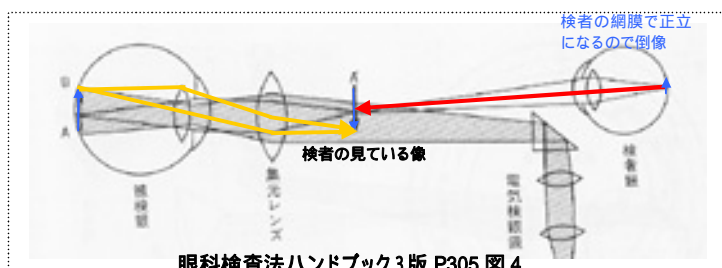


イラスト眼科7版 P113 図1



倒像単眼鏡による方法

光源からの光を被検者の瞳孔内に入れ、眼底から反射してきた光を+20Dあるいは+14Dなどの凸(集光)レンズを眼の前方に結像させ、眼底の倒像実像を観察する方法



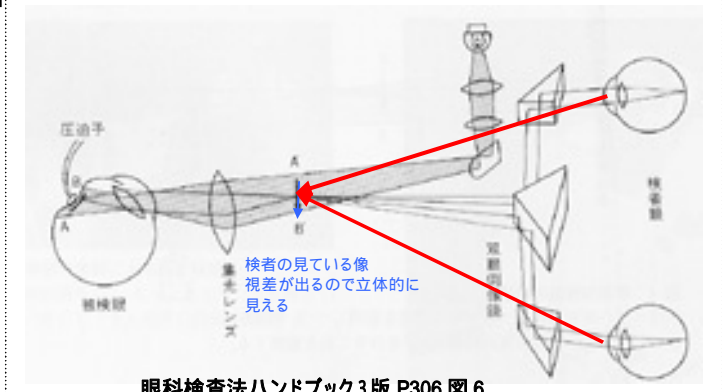
眼科検査法ハンドブック3版 P305 図4



イラスト眼科7版 P117 図1

倒像双眼鏡による方法

光源からの光を被検者の瞳孔内に入れ、眼底から反射してきた光をいくつかの+20Dあるいは+28Dなどの集光レンズで眼の前方に結像させ、検者の両眼の視線を鏡で反射させた双眼鏡にて両眼で眼底の倒像を立体的に観察する方法 (学校の場合はブライツコープに取り付ける型)



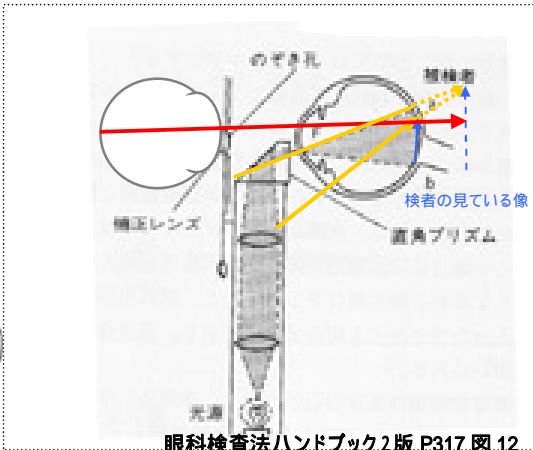
眼科検査法ハンドブック3版 P306 図6

直像鏡による方法

光源を内蔵する電気直像検眼鏡で被検者の瞳孔内に光を入れる方法で、被検者眼の屈折力約60Dで眼底を拡大し、約15倍の正立虚像を観察する方法 (眼底像の位置は検者の遠点にある)



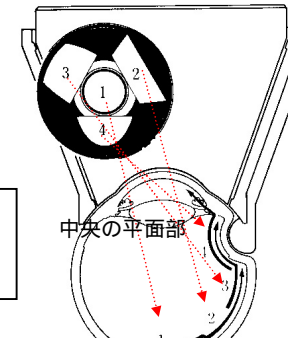
イラスト眼科7版 P117 図1



眼科検査法ハンドブック2版 P317 図12

細隙灯顕微鏡による方法

Goldmann 三面鏡・後極部用、前置レンズ(非接触型+60・72(78)・90D レンズ)を用いて、細隙灯顕微鏡で眼底を観察する方法



眼球にのせた時の、観察可能な眼底の領域
イラスト眼科7版 P113 図2・図3



フィルタの使い分け 視能学P222より

- 青フィルタ(コバルトフィルタ)と螢光色素 神経線維層の観察
- 緑フィルタ(無赤光フィルタ) 赤色所見(血管、神経線維層)の観察
- 赤フィルタ 網膜深層~脈絡膜の観察



現代の眼科学8版 p188 図8-5

